

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 27 年 9 月 10 日 (2015.9.10)

【公開番号】特開 2014-66832 (P2014-66832A)
 【公開日】平成 26 年 4 月 17 日 (2014.4.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-019
 【出願番号】特願 2012-211483 (P2012-211483)
 【国際特許分類】

G 1 0 D 13/00 (2006.01)

G 1 0 D 13/06 (2006.01)

【F I】

G 1 0 D 13/00 5 1 2 C

G 1 0 D 13/06 C

G 1 0 D 13/00 5 2 1 G

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 7 月 24 日 (2015.7.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 4】

請求項 4 記載のシンバル用消音具によれば、請求項 1 から 3 のいずれかに記載のシンバル用消音具の奏する効果に加え、フレームの内側部がロッドに対して揺動可能に固定されているので、シンバルが打撃された際にフレームをシンバルと一体的に揺動させることができる。これにより、打撃された際のシンバルの揺動がフレームによって阻害されることを抑制できるので、シンバルの打撃感が損なわれることを回避しやすくすることができるという効果がある。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 1】

なお、フレーム挿通筒部 3 1 a は、軸方向における寸法が、シンバル 1 0 をシンバル用消音具 2 0 の上面側から重ねた際に、フレーム挿通筒部 3 1 a の上端がシンバル 1 0 のベル部 1 1 と接触しない寸法に設定されている。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 8】

なお、連結部 3 3 の径方向への傾斜は、シンバル 1 0 のボウ部 1 2 の径方向への傾斜よりも緩やかに形成されており、内側部 3 1 のフレーム挿通筒部 3 1 a の軸方向における寸法が、シンバル 1 0 をシンバル用消音具 2 0 の上面側から重ねた際に、フレーム挿通筒部 3 1 a の上端がシンバル 1 0 のベル部 1 1 と接触しない寸法に設定されている。よって、シンバル用消音具 2 0 の上面側からシンバル 1 0 を重ねただけの状態では、フレーム 3 0 の

外側部 3 2 に取着された第 1 弾性部材 4 1 が、内側部 3 1 に取着された第 2 弾性部材 4 2 及び第 3 弾性部材 4 3 よりも先にシンバル 1 0 に当接され、第 2 弾性部材 4 2 及び第 3 弾性部材 4 3 とシンバル 1 0 の下面との間には隙間が形成されている。